



◆火入れ予定地

- a** …2023年火入れ予定地。2022年の焼き残し地。春・夏、各1~3a程度の小さなもの。火入2年目の大豆等栽培と、ナラ・カシ等のポット苗定植（体験メニュー）と同時に、先駆木類の保全、笹類の移植もあわせて。夏の火入れは**1**の東側を検討。
- b** …2023年春または夏島根大学里山管理研究会火入れ予定地。
- c** …2024~2025年火入れ予定。2023年は伐開と準備を進める。

◆消し炭づくり予定地

- 1** …2023年2月に可能であれば一部、11月以降状況みながら。
- 2** …2023年2月~6月のところで。

◆自然体験と観察~もりとはたけとうしのがっこう

どんぐり拾いや実生株の移植は全域で適宜。定植地は**1**を中心に。体験全般は**1****2**と尾根筋ルートを中心に、状況みながらブラウンスイス牧地にて。また、★**A**での火を使った料理、食事など。

詳細別紙

- 1**は火入れ後の遷移を牛が持続的に入れるバランスを地形地質植生をみながら誘導。
- 2**は試験的に牧草地への滋養供給森林&自然体験地として整備。

尾根道の藪払い  
観察歩行ルート  
をつくる。